

1. 研究課題名：

大規模災害における廃棄物の災害外力・地域特性に応じた  
処理技術・管理システムに関する研究



2. 研究代表者氏名及び所属：

中野 正樹（名古屋大学 大学院工学研究科）

3. 研究実施期間：平成 28～30 年度

4. 研究の趣旨・概要

東日本大震災では、大量の災害廃棄物等が早期復興の妨げとなった。来たる大規模災害で発生する災害廃棄物等に対処するためには、各地域での廃棄物性状を予測し、処理方法を策定し、復興計画における復興資材の有効利活用も踏まえた統合的な管理が必要となる。

本研究は、①有害物質含有など災害廃棄物等の地域特性や災害特性を考慮し、②処理ボトルネックを解消、利用を促進し、③自治体職員でも実施できる、実行可能性の高い災害廃棄物処理管理システムを検討する。

これにより、災害廃棄物等の利用促進による 3R を推進し、かつ様々な地域・災害に対し、自治体レベルで円滑かつ迅速な廃棄物処理計画を容易に作成し、実施することを目指す。

5. 研究項目及び実施体制

①地域特性・災害特性を考慮した災害廃棄物等の種類・発生量の時系列に沿った把握・予測（京都大学・名古屋大学）

②災害廃棄物等から破砕・選別処理された分別土砂の利活用の促進（名古屋大学・明治大学・国立環境研究所）

③発災前・後から処理処分・利活用までの災害廃棄物等処理事業管理システムの検討（和歌山大学・名古屋大学）

